

カブトガニ

Tachypleus tridentatus

剣尾目 カブトガニ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 I



成体の雌の全長は約60cm、雄は約50cmで、伏せたお椀^{わん}に剣をつけたような形をしている。内湾や河口干潟の砂浜で産卵、幼生は干潟で成長し、成体は沿岸の海底で生活する。脱皮するごとに大きくなり、約10年で成体となる。砂浜や海底をはいながら移動し、砂中の有機物、ゴカイ類や貝類などを餌とする。2億年前から形を変えておらず、「生きた化石」といわれている。干潟や沿岸の埋立て工事で、生息域が狭められ、個体数が減少し、絶滅の危険性が高い。

(写真・文：川原 大)

県内分布 周防灘，別府湾（主に守江湾）

分布域 本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・大分）

中国，インドシナ，フィリピン，東南アジア海域

甲
殻
類